

令和7年度の「定性的な評価」の検討まとめ

1 今年度実施された会議等

開催日	内容
第1回評価検討会議 令和7年9月17日	<p>定性的な評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の検討の進め方を提示 ワークショップやインタビューを行うことにより、昨年度の仮説を検証し、カテゴリー(実践知)を集約化し、独自評価モデル作成を目指す。 ・事務局としての「定性的な評価」についての考え方の提示 参考にするモデルは真鶴町の「美の基準」、すみだ食育 good ネットの10の実践知及びSDGs
ワークショップ 令和7年10月17日	<p>昨年度のワークショップ結果のフィードバック及び検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の「仮説」の検証 実践から見て違うのではないか。 ・昨年度出されたカテゴリーの再整理 5つの評価項目に紐づくように。
第2回評価検討会議 令和7年10月31日	<p>定性的な評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の「仮説」について改めて検討 分かりにくいので、分かりやすくする必要がある。 ・インタビューの進め方や質問項目について検討
インタビュー 令和7年12月6日	<p>すみだ青空市ヤッチャバ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤッチャバ事務局、出店者(ファシリテーター:本多委員)
インタビュー 令和7年12月10日	<p>野菜を育ててみよう!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館・コミュニティ会館館長(ファシリテーター:秋田委員長)
インタビュー 令和7年12月23日	<p>野菜を育ててみよう!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芽室町生産者なまら十勝野(ファシリテーター:秋田委員長)
インタビュー 令和7年12月24日	<p>野菜を育ててみよう!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すみだ食育 good ネット(ファシリテーター:秋田委員長)
インタビュー 令和8年2月9日	<p>行政栄養士連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内行政栄養士(ファシリテーター:米倉委員) 事前課題及び官の役割を果たしているか、について
第3回評価検討会議 令和8年2月26日	<p>定性的な評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の検討内容まとめ ・墨田区独自評価モデル案について検討

2 墨田区独自評価モデル案の作成経緯

- (1) ワークショップや第二回評価検討会議での意見を踏まえ、昨年度の事務局の作成したプロトタイプ「仮説」は見直す。
- (2) すみだらしい食育の質的な評価である「定性的な評価」の独自評価モデルについては、墨田区食育推進計画に記載されている「基本理念」、「5つの基本目標」及び独自の評価項目である「すみだらしさ」を評価の軸に据えて（今の取組で目指していること、ひと、まち、しくみ、すみだらしさ、の5つ）それに紐づくようにカテゴリーを設定する。今年度のワークショップにおいてその整理を行った。
- (3) その整理されたカテゴリーについて、熱心に継続して行われている民の取組事例にインタビューを行うことにより、カテゴリーを集約することにした（多く選ばれたものをカテゴリーとして選ぶ。ただし選ばれなかった言葉を捨てるものではない。）。また、定性的な評価については、区民と区の両面から検討・調査する必要があるため（計画書65頁）官のインタビューも行うこととした。
- (4) その集計結果を踏まえ、令和7年度第3回評価検討会議に独自評価モデル案を提示した。

ポイント

- ・自分たちの取組を質的に高めていきたいと思えるようなものであるべき。やる気をなくすようなものであってはならない。
- ・文章化の方法は、具体的な例やエピソードを交え、中学生などが読んでも分かりやすいものにする。

3 来年度以降の検討について

来年度も評価検討会議を設置する方向で、次期計画策定に向けて独自評価モデルを検討していきたいと考えている。また、インタビュー事例についても蓄積していく。

- (1) 民の事例については、ステージや特徴が違う団体にもフォーカスを当てることとしたい。
- (2) 官については、次期計画をどのように推進していくか、より進めていくためにどうするか、について来年度もインタビューを行い、評価をする。